



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月31日

上場会社名 株式会社 アイネス
コード番号 9742 URL <https://www.ines.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートスタッフ本部長
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6775-4401

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-----|------|-----|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 8,436 | 15.3 | 321 | | 304 | | 275 | |
| 2024年3月期第1四半期 | 9,957 | 3.3 | 694 | 5.9 | 719 | 5.3 | 377 | 14.9 |

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 230百万円 (%) 2024年3月期第1四半期 494百万円 (16.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期第1四半期 | 13.24 | |
| 2024年3月期第1四半期 | 18.17 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 52,757 | 37,061 | 70.2 |
| 2024年3月期 | 54,427 | 37,790 | 69.4 |

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 37,061百万円 2024年3月期 37,790百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2024年3月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期 | | 25.00 | | 25.00 | 50.00 |
| 2025年3月期(予想) | | | | | 55.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 44,000 | 8.5 | 4,000 | 39.0 | 4,000 | 46.4 | 2,700 | 50.3 | 129.80 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2025年3月期1Q | 20,900,000 株 | 2024年3月期 | 20,900,000 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|----------|----------|----------|
| 2025年3月期1Q | 99,539 株 | 2024年3月期 | 96,727 株 |
|------------|----------|----------|----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2025年3月期1Q | 20,805,961 株 | 2024年3月期1Q | 20,798,359 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|------|
| 1. 経営成績等の概況 | P. 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | P. 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | P. 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 6 |
| 四半期連結損益計算書 | P. 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | P. 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) | P. 9 |
| (セグメント情報等の注記) | P. 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 9 |

1. 経営成績等の概況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境が改善した一方で、エネルギー価格や原材料価格の高騰等により先行きが不透明な状況が続いています。

当事業分野に目を向けると、政府は「デジタル田園都市国家構想」を「新しい資本主義」の重要な柱の一つに掲げており、社会課題を解決する鍵としてDX推進がますます重要となると期待されます。

当社グループでは、今年度よりスタートした「2026中期経営計画」において、「挑戦・進化し続ける企業」をビジョンに掲げ、AIを活用するDX企業となるべく「地方公共団体情報システムの標準化対応」、「次世代ソリューションの開発」、「事業基盤拡充」の3つの柱をベースとして事業を推進しています。

「地方公共団体情報システムの標準化対応」については、2025年度末とされていた移行期限が、国の決定により一部延期となり、対応のピークが後ろ倒し、かつ短期間となりました。その間に多くの自治体システムの移行を正確、かつ確実に行う必要がありますが、全国の拠点網を活用するとともに、アライアンス先とも連携し、万全の開発・導入体制のもと、引き続き品質向上に注力し、経営の最優先事項として取り組んでいます。

「次世代ソリューションの開発」については、自治体システム標準化後を見据えて「つながる」をコンセプトとした次世代WebRingsの開発に着手します。自治体内部のシームレスな連携、他社ソリューションの組込、自治体と民間事業者をつなげ、異業種横断的なサービスの提供を実現することで、最適な住民サービスをご提供し、多様化するニーズにお応えしてまいります。また、民間分野ではこれまで自治体DXで培ったノウハウを活用し、地域・民間向けに新たなソリューションを提供いたします。三菱総研グループとの協業関係を深化させ、住民の課題解決・地域のデジタル化を推進する「地域共創」にも取り組んでまいります。

「事業基盤拡充」については、パートナーシップ推進の効果を発揮させ、アライアンス先も活用した顧客数の拡大・顧客基盤の強化を図ります。また、AIを活用して開発の生産性や品質を高めるため、当社グループのITインフラ投資を加速し、社内での生成AI環境の構築・運用を開始いたしました。

また、「サステナブル経営」においては、「人的資本投資」、「財務戦略」、「ITインフラ投資」の3つの重点項目に注力しています。「人的資本投資」では、社員一人ひとりが輝くための戦略を推進し、AI・DX人材育成を加速させるべく、事業戦略と連動した人的資本投資戦略を一貫して取り組むべく体制を構築しています。「財務戦略」では、株主価値の向上にむけて当社グループ全体での資本効率の最適化、事業拡大にむけた戦略的投資を進めています。「ITインフラ投資」では、事業価値の向上に向けてIT基盤の高度化を図るITロードマップの計画実行、データドリブン経営の推進、グループ全体の品質向上を推進しています。

なお、経営基盤の強化を図るべく、2024年4月に当社グループの本部・本社機能を集約し、グループシナジーの創出、企業価値の向上を推進しています。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の売上高は84億36百万円と前年同期比15.3%の減収となりました（下表〔業種別連結売上高〕をご参照ください）。公共分野につきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う各種福祉給付金関連等の大型アウトソーシング案件の減少などにより34億11百万円（前年同期比23.2%減）となりましたが、標準化対応システムの導入に伴う今年度の受注につきましては堅調に推移しております。民間分野につきましては、小売業向け基幹システムリプレース案件の減少などにより50億24百万円（同8.9%減）となりました。

損益面においては、各分野の減収により、営業損失は3億21百万円（前年同期は6億94百万円の営業利益）、経常損失は3億4百万円（同7億19百万円の経常利益）となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億75百万円（同3億77百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

〔業種別連結売上高〕

（単位：百万円）

| 区分\期別 | 前第1四半期連結 累計期間 | | 当第1四半期連結 累計期間 | | 対前年同期 増減率 |
|-------|------------------|--------|------------------|--------|--------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| 公 共 | 4,441 | 44.6% | 3,411 | 40.4% | △23.2% |
| 民 間 | 5,516 | 55.4% | 5,024 | 59.6% | △8.9% |
| 合 計 | 9,957 | 100.0% | 8,436 | 100.0% | △15.3% |

（注）当第1四半期連結累計期間より、管理会計区分の変更に伴い、従来「金融」「産業」に区分していた売上高を、民間分野へ表示しました。前第1四半期連結累計期間についても同様に組替再表示しております。

[商品・サービス別連結売上高]

(単位：百万円)

| 区分\期別 | 前第1四半期連結 累計期間 | | 当第1四半期連結 累計期間 | | 対前年同期 増減率 |
|--------|------------------|--------|------------------|--------|--------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| システム開発 | 3,466 | 34.9% | 3,297 | 39.1% | △4.9% |
| 運用 | 3,986 | 40.0% | 3,211 | 38.1% | △19.4% |
| システム保守 | 1,227 | 12.3% | 1,216 | 14.4% | △0.9% |
| 情報機器販売 | 221 | 2.2% | 166 | 2.0% | △25.0% |
| その他 | 1,056 | 10.6% | 545 | 6.4% | △48.4% |
| 合計 | 9,957 | 100.0% | 8,436 | 100.0% | △15.3% |

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産は527億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億70百万円減少しました。

流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産を中心に20億33百万円減少し、182億50百万円となりました。固定資産は、3億63百万円増加し、345億7百万円となりました。

流動負債は、主に未払法人税等の減少により5億56百万円減少し、70億45百万円となりました。固定負債は、3億84百万円減少し、86億50百万円となりました。

純資産は、配当金の支払等により7億28百万円減少し、370億61百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月30日に公表した連結業績予想及び配当予想に変更はありません。

(将来予測情報に関する注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,479 | 10,382 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 11,855 | 5,769 |
| 仕掛品 | 383 | 584 |
| 原材料及び貯蔵品 | 69 | 87 |
| 前払費用 | 431 | 519 |
| その他 | 1,084 | 919 |
| 貸倒引当金 | △19 | △13 |
| 流動資産合計 | 20,283 | 18,250 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,479 | 6,021 |
| 減価償却累計額 | △628 | △692 |
| 建物及び構築物（純額） | 851 | 5,329 |
| 工具、器具及び備品 | 3,996 | 4,009 |
| 減価償却累計額 | △2,971 | △3,014 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,025 | 995 |
| 土地 | 5,299 | 5,299 |
| 建設仮勘定 | 4,587 | — |
| 有形固定資産合計 | 11,764 | 11,624 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 2,498 | 2,673 |
| その他 | 23 | 23 |
| 無形固定資産合計 | 2,522 | 2,696 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 13,535 | 13,580 |
| 長期前払費用 | 767 | 673 |
| 繰延税金資産 | 4,147 | 4,656 |
| その他 | 1,407 | 1,274 |
| 投資その他の資産合計 | 19,857 | 20,185 |
| 固定資産合計 | 34,143 | 34,507 |
| 資産合計 | 54,427 | 52,757 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,909 | 1,804 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 416 | 625 |
| 未払費用 | 1,297 | 1,144 |
| 未払法人税等 | 722 | 181 |
| 未払消費税等 | 272 | 170 |
| 前受金 | 129 | 441 |
| 賞与引当金 | 959 | 1,431 |
| 役員賞与引当金 | 80 | 26 |
| 受注損失引当金 | 49 | 85 |
| 資産除去債務 | 230 | 243 |
| その他 | 1,533 | 889 |
| 流動負債合計 | 7,601 | 7,045 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,583 | 4,374 |
| 役員退職慰労引当金 | 88 | 33 |
| 退職給付に係る負債 | 3,411 | 3,299 |
| 資産除去債務 | 154 | 147 |
| その他 | 798 | 796 |
| 固定負債合計 | 9,035 | 8,650 |
| 負債合計 | 16,637 | 15,696 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 15,000 | 15,000 |
| 資本剰余金 | 10,099 | 10,101 |
| 利益剰余金 | 12,438 | 11,643 |
| 自己株式 | △140 | △120 |
| 株主資本合計 | 37,398 | 36,624 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 54 | 92 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 336 | 344 |
| その他の包括利益累計額合計 | 391 | 436 |
| 純資産合計 | 37,790 | 37,061 |
| 負債純資産合計 | 54,427 | 52,757 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 9,957 | 8,436 |
| 売上原価 | 7,668 | 7,208 |
| 売上総利益 | 2,289 | 1,228 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,595 | 1,549 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 694 | △321 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 13 |
| 受取配当金 | 5 | 7 |
| その他 | 6 | 6 |
| 営業外収益合計 | 25 | 27 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 7 |
| その他 | 0 | 2 |
| 営業外費用合計 | 0 | 10 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 719 | △304 |
| 特別利益 | | |
| 特別利益合計 | — | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1 | 7 |
| 特別退職慰労金 | — | 45 |
| その他 | — | 15 |
| 特別損失合計 | 1 | 68 |
| 税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△) | 718 | △372 |
| 法人税等 | 340 | △96 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 377 | △275 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 377 | △275 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日） |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | 377 | △275 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 99 | 37 |
| 退職給付に係る調整額 | 17 | 7 |
| その他の包括利益合計 | 116 | 45 |
| 四半期包括利益 | 494 | △230 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 494 | △230 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△) | 718 | △372 |
| 減価償却費 | 426 | 438 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 577 | 471 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △53 | △53 |
| 受注損失引当金の増減額(△は減少) | △3 | 36 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 2 | △55 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △44 | △101 |
| 固定資産除却損 | 1 | 7 |
| 特別退職慰労金 | — | 45 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 6,236 | 6,399 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △194 | △219 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | 34 | 23 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △210 | 2 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | △206 | △357 |
| その他 | △71 | △77 |
| 小計 | 7,212 | 6,186 |
| 法人税等の還付額 | — | 42 |
| 法人税等の支払額 | △754 | △727 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 6,457 | 5,500 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額(△は増加) | — | 1,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △498 | △871 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △181 | △333 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △79 | △20 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1 | △1 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △47 | △40 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 58 | 173 |
| 資産除去債務の履行による支出 | — | △8 |
| その他 | 0 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △748 | △102 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | △3 | △0 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △491 | △493 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △495 | △494 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 5,213 | 4,903 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,162 | 5,265 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 14,376 | 10,168 |

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、情報システムやネットワークの企画・開発から稼働後の運用・保守・メンテナンスまで一貫したサービスを展開しており、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

剰余金の配当

当社は、前期期末配当に関し、2024年6月25日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しました。

- （1）株式の種類・・・・・・・・普通株式
- （2）配当金の総額・・・・・・・・520百万円
- （3）1株当たりの配当額・・・・・・・・25円
- （4）基準日・・・・・・・・2024年3月31日
- （5）効力発生日・・・・・・・・2024年6月26日
- （6）配当の原資・・・・・・・・利益剰余金

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

以上